

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2018年2月）

2月国内販売と輸出の季調値が共に増加。しかし、内需縮小は続き、米国向け輸出への下方圧力は強く、楽観は禁物。

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2月メキシコ自動車生産台数（季調値）は増加。国内販売と輸出が共に増加したことが背景。
- 米国新車市場の減速が続いており、今後もこの点がメキシコ産輸出車両への逆風となろう。
- NAFTA再交渉の行方が依然不透明で、メキシコビジネスへの投資に積極的になるのが難しい状況。

2月メキシコ自動車生産台数（SAAR）は前月比5.4%増の398万台

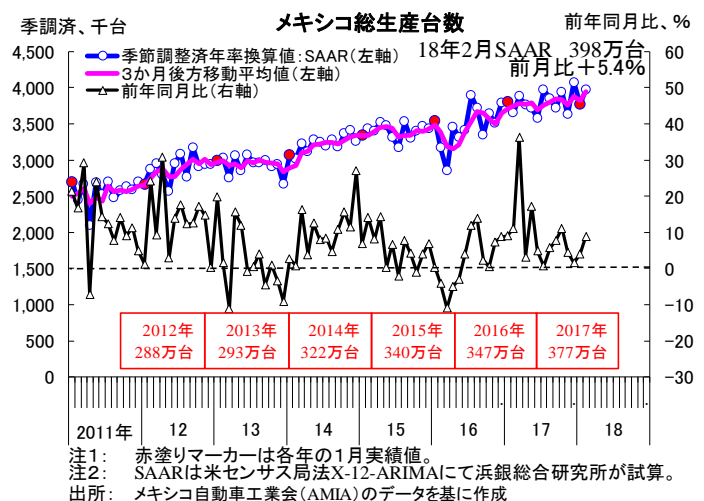
メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz: AMIA）が発表した2018年2月の総生産台数は、前年同月比8.9%増と21か月連続で前年超えし、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）も前月比5.4%増の398万台と増加した（図表1）。国内販売と輸出台数のSAARがともに増加したことが増産の背景にある。

2月の総輸出台数は前年同月比11.2%増となり、輸出台数のSAARも前月比6.5%増の345万台と増加し、前月の減少から反転した（図表2）。なお、AMIA会長は3月7日付の現地経済誌*El Financiero*において、2月の輸出増加の背景に、米General Motors（GM）のSan Luis Potosi工場で国内向け専用のシボレー「Aveo」が生産終了した（中国へ生産移管された）一方、主に米国向けに輸出される新型シボレー「Trax」が大幅増産されたとコメントしている。ちなみに、2月メーカー別輸出統計の中身を見ると、総輸出台数が前年同月比で約2.8万台増加したが、うちGMは同3.1万台も増えた。従って、新型車が投入されたばかりの特殊要因で2月の輸出が持ち上がったと考えることもでき、輸出環境が改善したと判断することは尚早である。加えて、主要輸出先である米国の2月新車販売台数（SAAR）は前月比3.3%減の1,724万台（弊社試算）と減少し、3か月後方移動平均値でみたトレンドは下落傾向が続いている（図表3）。今後も引き続き、米国新車販売の減速がメキシコ産輸出車両への逆風となろう。

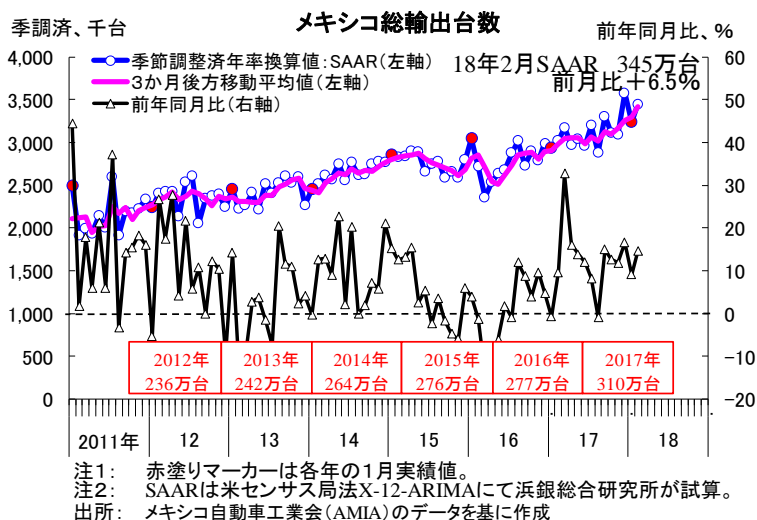
2月のメキシコ国内の総販売台数は前年同月比7.2%減と9か月連続で前年割れしたが、SAARは前月比9.1%増の143万台と反転増加した。もっとも、3か月後方移動平均値でみるトレンドは下降トレンドが続いている。ガソリン価格の上昇と自動車ローンの与信厳格化により、メキシコ内需の不調は今後も続こう（図表4）。なお、メキシコ自動車販売者協会（AMDA）のスポークスマンは、少なくとも、大統領選が行われる7月までは、国内販売が前年割れする厳しい状況が続くとコメントしている（3月1日付*El Financiero*）。

NAFTA再交渉の行方が不透明であることもあり、18年のメキシコ自動車市場は多くのリスク要因に晒される神経質な展開が続こう、当面、自動車関連企業がメキシコ投資に積極的になることは難しいと考える。

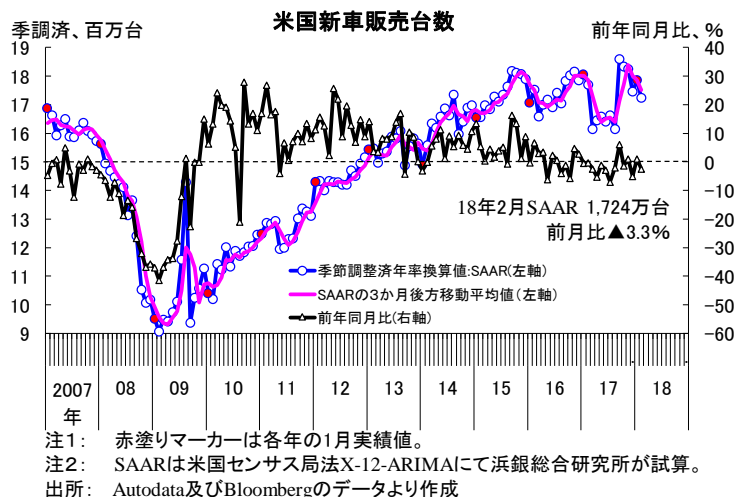
図表1 2月生産台数（SAAR）は増加



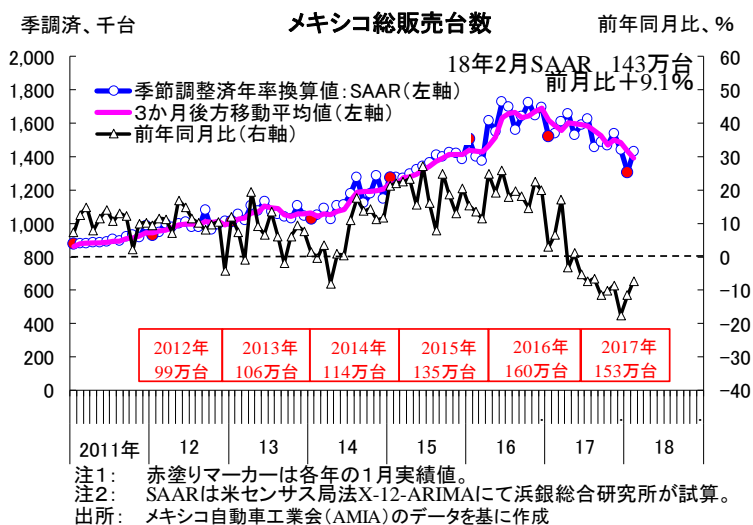
図表2 2月輸出台数 (SAAR) は増加



図表3 米国新車販売の下落基調が続く



図表4 国内新車販売は減少トレンド続く



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。